

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

日東電工株式会社

2024年3月29日

Nitto

Innovation for Customers

1

現状分析

2

経営目標（KPI）

3

企業価値向上の取組み

4

財務戦略（キャッシュアロケーション）

5

株主還元

1. 現状分析 ～PBRの分析～

PBRは、2020年度をピークに低下し、直近は1.47倍
PERは低下傾向も、ROEは2019年度を底に10%以上の水準を維持

PBR

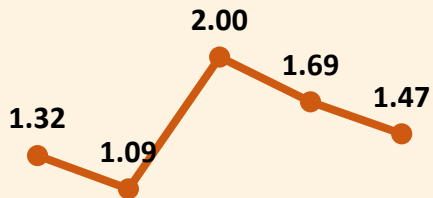
=

ROE

×

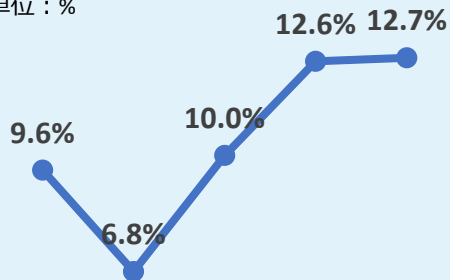
PER

単位：倍



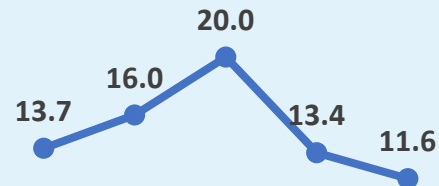
2018 2019 2020 2021 2022

単位：%



2018 2019 2020 2021 2022

単位：倍



2018 2019 2020 2021 2022

1. 現状分析 ～ROEの分析～

コロナ禍の下、ノートPC・タブレット端末向けの巣ごもり需要を取り込むとともに、ハイエンドスマートフォン向け高精度基板の採用拡大により、利益率が改善しROE向上に寄与

ROE

=

親会社の所有者に
帰属する当期利益率

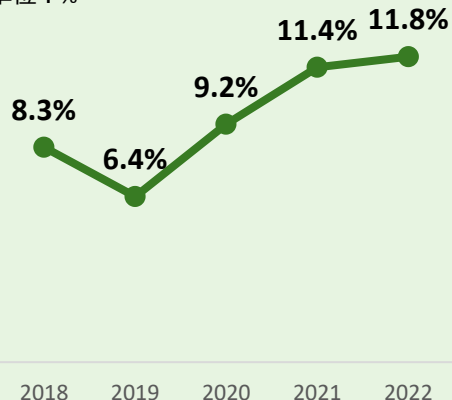
×

総資産回転率

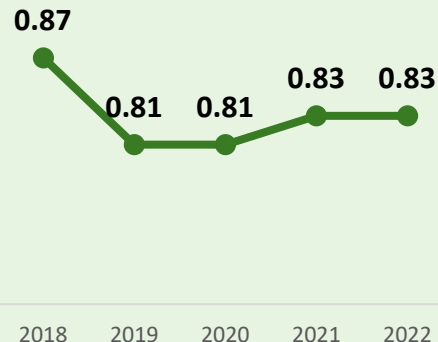
×

財務レバレッジ

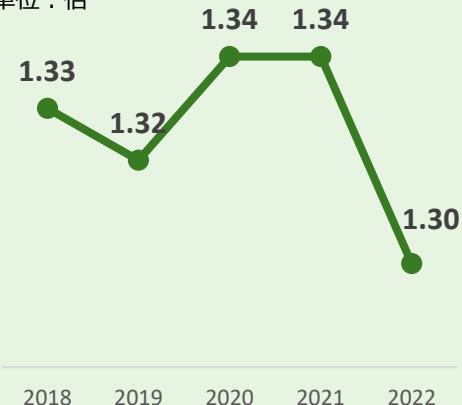
単位：%



単位：回



単位：倍



2. 経営目標（KPI）～財務目標、未財務目標(2025年、2030年)～

財務目標

	2022年	2025年	2030年
営業利益	1,472億円	1,700 億円	2,400億円
営業利益率	15.8%	17%	-
ROE	12.7%	15%	20%

未財務目標（継続）

新製品比率	41%	35% 以上	35% 以上
CO ₂ 排出量	570kton/年	550 kton/年	470kton/年
女性リーダー比率	19%	24%	30%

未財務目標（新規）

	2022年	2025年	2030年	
製品系	ニッチトップ売上収益比率 Nittoの収益を牽引する製品の比率	47%	50%	50% 以上
	PF/HFカテゴリ売上収益比率 地球環境・人類社会への事業貢献度 ※PlanetFlags™/HumanFlags™	17% *Flags認定品	40%	50% 以上
環境系	廃プラスチックリサイクル率 資源循環の取組強化を評価する指標	46%	50%	60%
	サステナブル材料使用率 環境配慮した材料の調達割合	17% *国内	20%	30%
人財系	エンゲージメントスコア 従業員の働き甲斐を評価する指標	74(21年度)	78	85
	チャレンジ比率 価値創造にチャレンジする人財の比率	42%	70%	85%

3. 企業価値向上の取組み

ROEとPER双方の視点からPBR向上を目指す

企業価値

=

財務領域

×

未財務領域

企業価値の創造力

経営の効率性

将来への期待

PBR (倍)

=

ROE (%)

×

PER (倍)

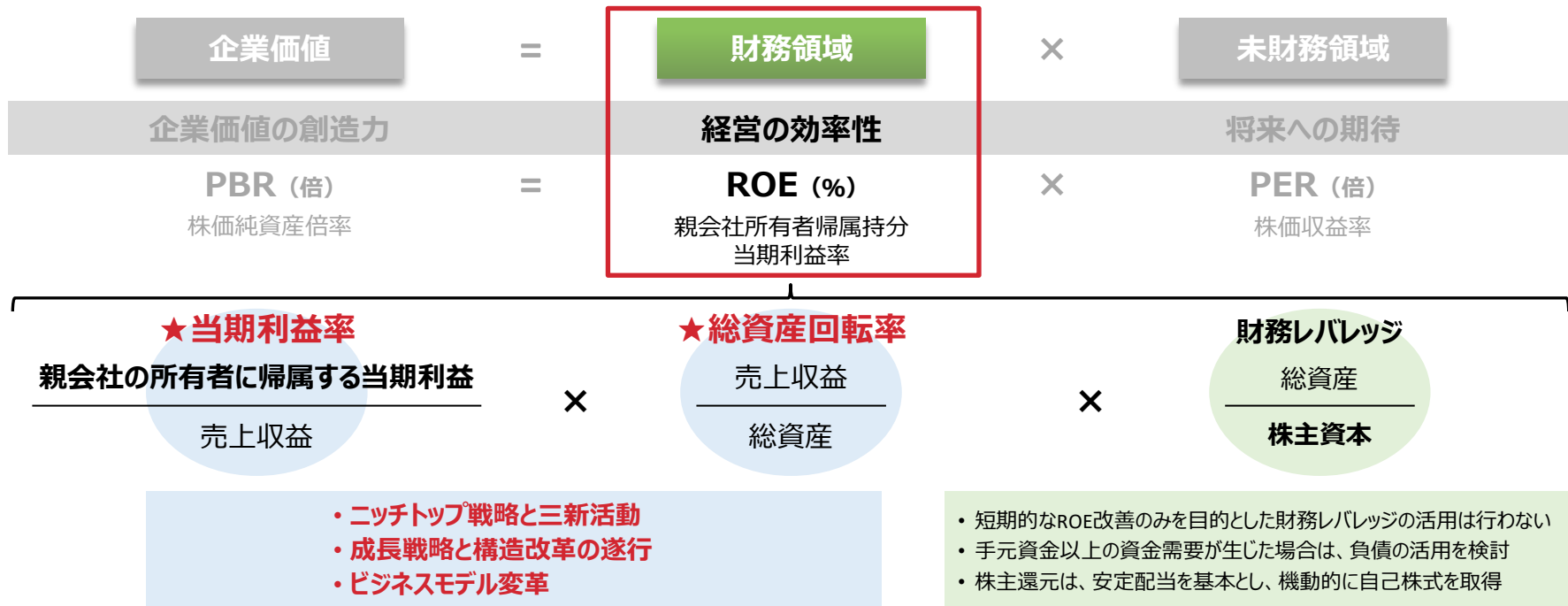
株価純資産倍率

親会社所有者帰属持分
当期利益率

株価収益率

3. 企業価値向上の取組み ～ROE向上の考え方～

利益率、回転率に主眼を置きROE向上を図る



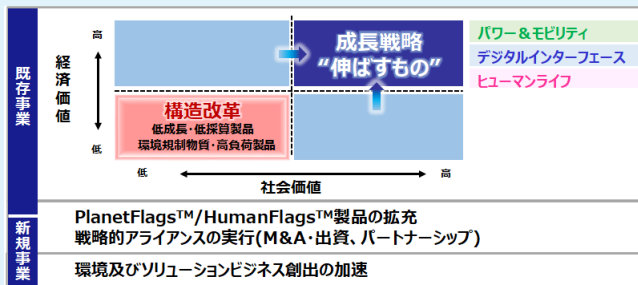
3. 企業価値向上の取組み ～ROE向上の取組み～

利益率・回転率の向上に向けて、
ニッチトップ戦略、三新活動、成長戦略と構造改革の遂行、ビジネスモデル変革を推進

ニッチトップ戦略

変化しながら成長するマーケットを見極め、
その中のニッチな領域を対象に、Nittoグループ固有の
技術・知見の融合と、ステークホルダーとの共創により、
なくてはならない“製品”“機能”“ビジネスモデル”を
継続的に生み出し、シェアNo.1を狙うNitto独自の
差別化戦略

成長戦略と 構造改革の 遂行



新用途開拓と
新製品開発に取り組むことで、
新しい需要を創造する
Nitto独自のマーケティング活動

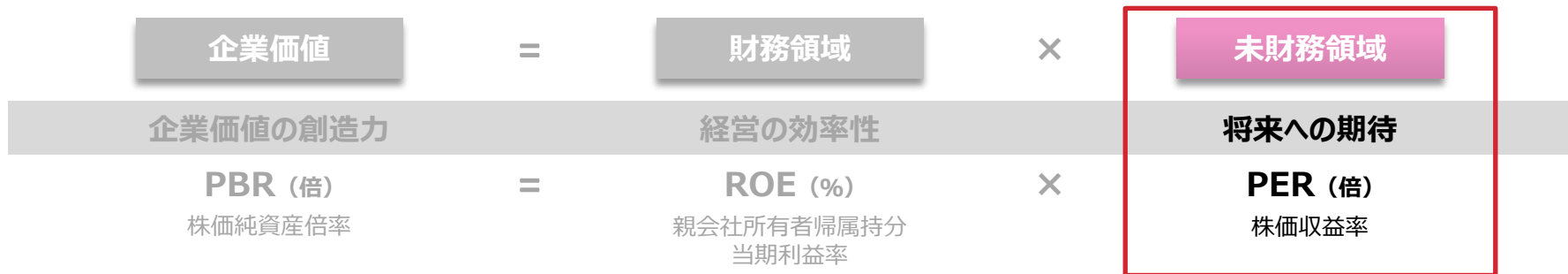


三新活動



ビジネス モデル変革

3. 企業価値向上の取組み ～PER向上の考え方～



未財務を財務に、企業価値に転換する強いこだわり

地球環境・人類になくてはならない

お客様・産業になくてはならない



ニッチトップ

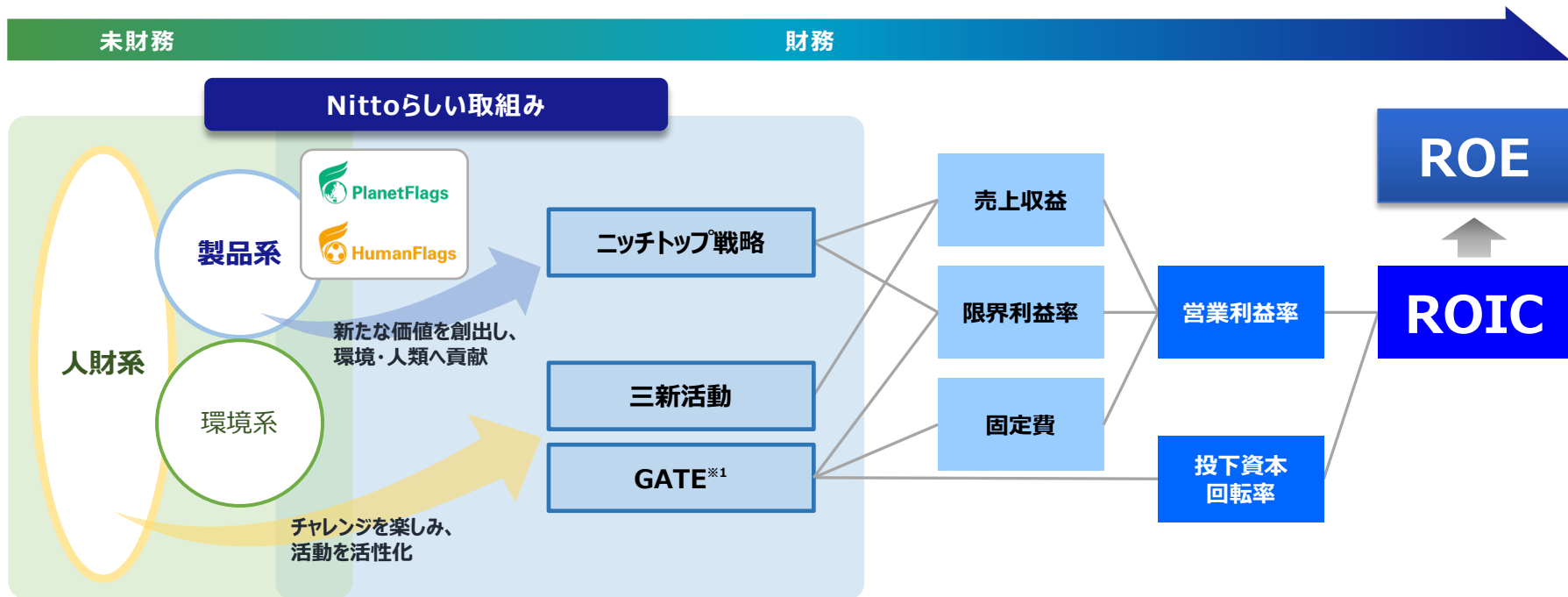
Flagsの可能性ある開発テーマしかやらない

コストではなく事業（投資）としてESGを推進

カーボンニュートラル宣言から、さらなるカーボンネガティブへ向けた事業推進

3. 企業価値向上の取組み ～ROIC経営の推進～

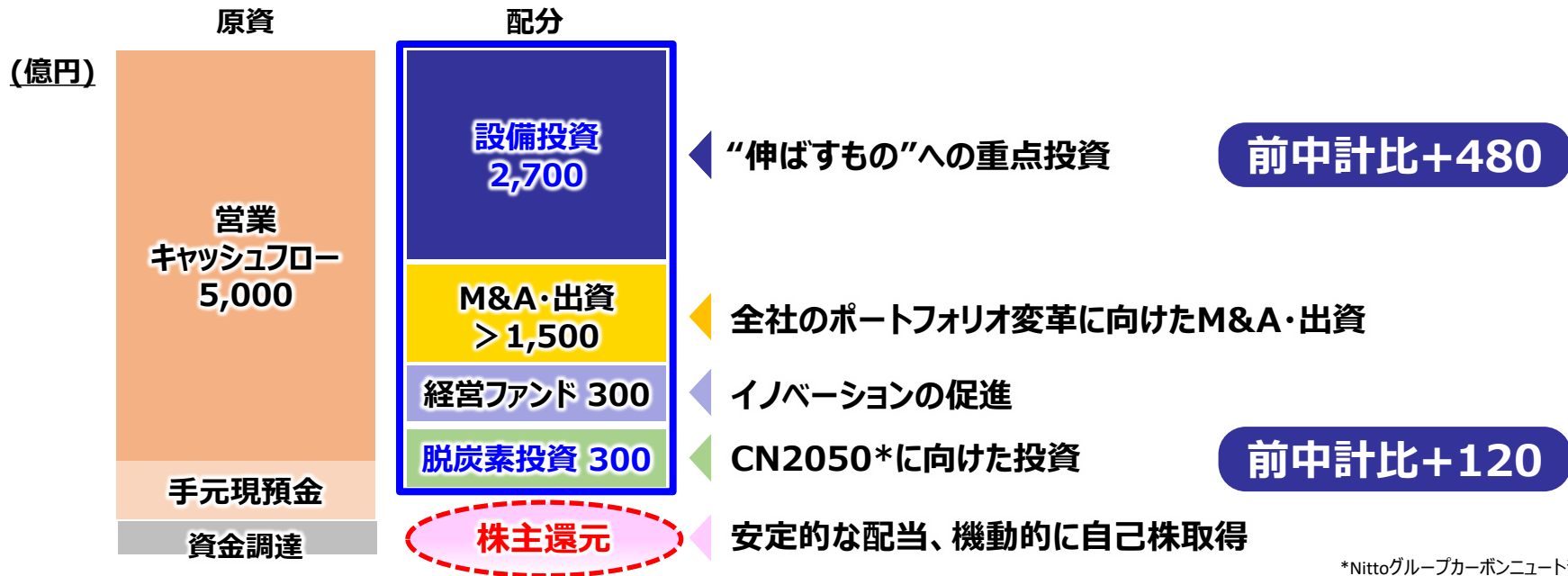
人的資本を起点としたNittoらしい取組みで、未財務から財務への転換を図る



※1 Global Activity Toward Excellence : 「職場の活性化」と「質の向上」を目指した小集団活動

4. 財務戦略 ～キャッシュアロケーション(2023-25年の3か年累計)～

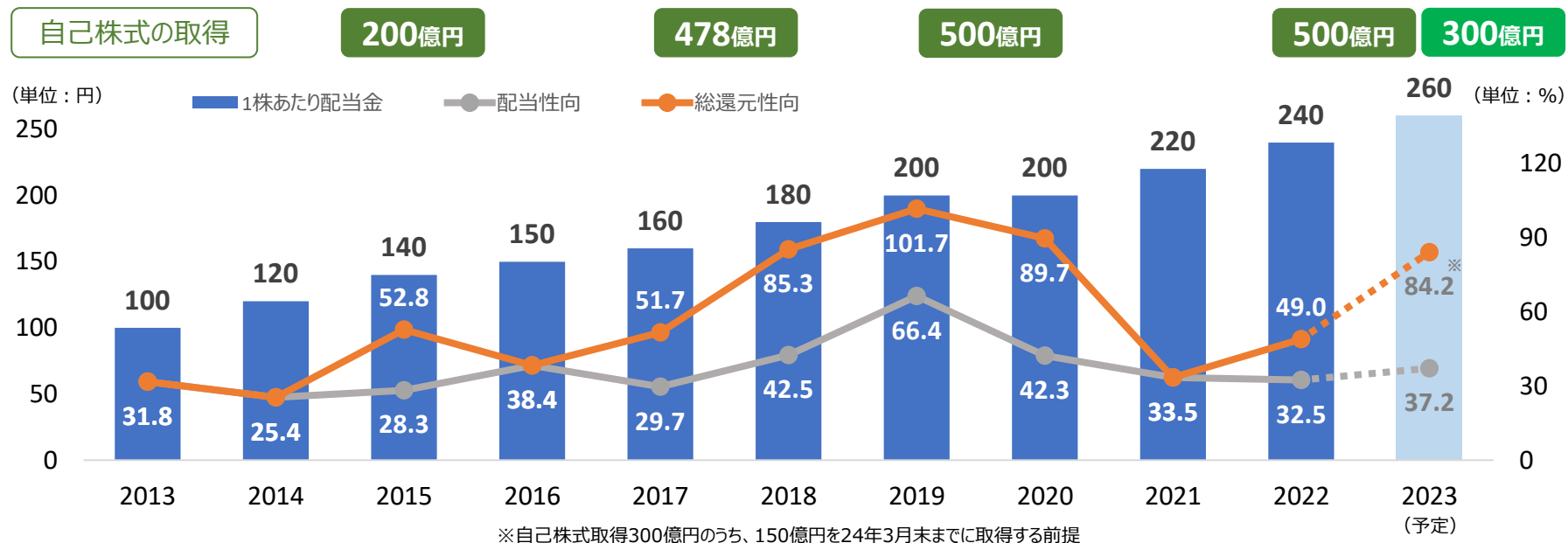
成長分野やESG施策に向けて、投資額を4,800億円(+600)へ増額
投資家の皆様へ株主還元も安定的に実施



*Nittoグループカーボンニュートラル2050

5. 株主還元

配当政策は安定的に利益の還元を行うことを基本とし、継続的にDOE4%以上を目指す
自己株式取得はキャッシュの水準等を総合的に勘案し、機動的に実施



Nitto

Innovation for Customers